

第1回不登校・不登校傾向対策委員会

6月13日（木）は今年度1回目となる不登校・不登校傾向対策委員会を実施しました。今回は以前高岡中学校で勤務されていた田中雅子先生を講師としてお招きし、「金持ちより 人持ち」という演題で子どもたちや保護者との向き合い方についてお話をしていただきました。



田中先生の実践は、様々なご苦勞の積み重ねの上にあるということがお話から伝わってきましたが、私がお話を聴く中で特に感じたのは、子どもの心に寄り添う丁寧さです。家庭訪問1つとってもそうです。田中先生は不登校の状態にある生徒の家を行ける限り訪問をしていました。最初は会えていたようですが、次第に顔を見せなくなり、遂にある日、子どもから「来すぎ!」と言われたそうです。それに対して田中先生は「じゃあどれくらいなら来て良い?」と問い返し「週1回なら」という子どもの要求を引き出します。何気ないやり取りですが、こうした些細なやり取りの積み重ねが子どもとの信頼関係となるのではないかと思います。是非、担任の先生にも聞いていただきたい内容でした。



【参加者の感想の一部】

- ▶田中先生の講話をお聞きして、**子ども同士の繋がりや子どもを認める言葉の力はすぐに成果が出なくても、数年後に大きなきっかけになることがある**ことを知り、目の前の結果に手応えがないことで諦めず、**どこまでも信じ、認めつづけたい**と感じました。
- ▶田中先生がおっしゃられていた・どこまでも支える・心をつなぐ・ありのままを受け入れる・信じ続

ける・励まし続ける の5つを貫き通すのは時に難しいこともありますが、私自身も意識しておきたいと思いました。また、学校では、限られた時間しか子どもと関わりませんが、子どもにとって1番大事な時期でもあります。よい言葉を伝えて学生生活の時には芽吹かなくてもいつか生徒が大きくなった時に、力となったらいいなと感じました。

▶田中先生の貴重な実践を聞かせていただき、生徒や保護者との関わり方のヒントをたくさんいただきました。特に、子どもの可能性を信じ、諦めずどこまでも関わる姿勢や小さなことでも良いところを見つけて伝える関係づくり、課題のある子どもだけでなく周囲(学級)に働きかけ育てる視点など、自分を振り返ったとき学ぶべきところが数多くありました。これから生徒や保護者と関わるうえで、少しでも近づきたいと感じました。

▶素晴らしい実践で具体的な学級運営の話も聞けました。虐待や非行・不登校など様々な生徒が存在している中で、学級の居心地・やる気を引き起こすための生徒一人ひとりを褒め心広く細やかな愛情で接していること、手作り掲示物作成で暖かさを感じさせる雰囲気づくりの工夫など、学級経営目標がしっかりしていてブレない先生の信念と辛抱強い継続した取り組みで一人も見逃さず、見捨てず一人ひとりを大切に関わっている様子を感じ学びました。担任だけでは行き届かない支援を保健室や別室対応・支援センター・SC・SSWと他機関で連携していき、担任のメンタルケア含めサポートしていきたいと思いました。

▶トラブル対応・生徒や保護者とのコミュニケーション・環境づくり等一つ一つがとても丁寧でした。このときの人とのつながりがその後の人生に影響している生徒もきっといると思います。私は将来を見据えた今の関わりを大事にしたいと思いました。学校に持ち帰って共有したいと思います。

▶学級経営や保護者との関わり方など、具体的な実践を聞けてとても参考になりました。不登校や不登校傾向な生徒に対して、担任や、養護教諭だけが関わるのではなく、学校全体で共通認識を持ち、関わっていくことが大切だと改めて感じました。また、私自身、経験が浅く、「ほめる」ということに難しさを感じますが、今回の講話や、周りの先生方を見習いながら、「ほめる」ことを意識して頑張りたいと思いました。

▶子ども同士の関わりがどれだけ良い影響を与えるか知ることができた。私もいいことの貯金を増やしていこうと感じた。

▶田中先生のさまざまな学級づくりのケースについて聞くことができ大変勉強になりました。働き方改革と言われる中で、どこまで丁寧に対応できるかは難しいなと思いますが、田中先生の、生徒だけでなく保護者への対応をお聞きして自分の対応の仕方も見つめ直すきっかけとなりました。

須崎小学校 校内研修

6月14日(金)は須崎小学校の校内研で講師を担当させていただきました。「個別最適学習と心理的安全性」をテーマに、ロイロノートの共有ノートを活用した協働的な学びや、スプレッドシートを活用した学習計画や学習記録の運用などについて、昨年度実践したこと、今年度実践しようとしていることなどをお伝えしました。

私も手探りの状態で進めている研究です。調べれば調べるほど分からなくなるようなこともあり、同じ方向を向いて考えてくださる先生が一人増えるだけでも非常に心強いと思っています。一緒に挑戦をしませんか？



スプレッドシート(パターンⅠ)



スプレッドシート(パターンⅡ)